

兵高教組

調査情報

2021年9月24日

11号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745

FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

コロナ感染拡大に伴う緊急要求書を提出

県内の学校でも感染拡大が続く中、高教組は9月6日に県教育長宛に「新型コロナウイルス感染症拡大防止に関わる緊急要求書」を提出しました。概要は下記の通りです。

【要求項目】

- 1 : 休校や学級閉鎖の基準を示すとともに、学校独自の柔軟な対応を。
- 2 : 各学校で必要としている備品や備蓄用マスクなど、緊急に予算配分を。
- 3 : 不織布マスクの支給、「マスク手当」の支給。
- 4 : ワクチン接種強要がないように。それによる差別や不利益が起らないように。個人情報の保護を。
- 5 : 検査を希望する教職員が外部機関で安心して受けられるような体制を。
- 6 : 授業時数の柔軟な対応を。
- 7 : 妊娠中の教員への配慮、臨時教員増員を。
- 8 : 特別支援学校校舎やスクールバスの密解消を。
- 9 : 全職員への情報共有を。

学校現場は困難な状況が続いている！

4回目の緊急事態宣言も延長されました。医療の逼迫は兵庫県でも深刻な状態が続いています。この10年間、行財政改革の名の下、県内の保健所や公立病院の統廃合が進み、地域の医療体制が脆弱になっていることの危機感は、7月の兵庫県知事選でも争点の一つになりました。この秋には総選挙が予定されていますが、これ以上の新自由主義の施策を許すことはできません。

9月2週目を終わった時点で、次のような状況が報告されています。

- ◇複数の学校で、生徒や教職員の感染もしくは濃厚接触者が出ていて、児童生徒の欠席、学年・学級閉鎖、部活休止措置が多発している。行事は軒並み縮小や中止で混乱している。
- ◇子どもにも保護者にも不安が広がっていて、欠席や特別支援学校で保護者による送迎が行われるなど、保護者の負担が増している。半日授業やオンライン授業等工夫もするが、学習保障が難しい。
- ◇教職員の感染への心理的負担と、消毒作業の強化・行事検討の長時間の会議など時間的・肉体的負担が増している。家族が接触者となったり、子どもの学校が休

校になったりして休暇を取る教職員も増え、ますます厳しい勤務実態になっている。

- ◇消毒液、不織布マスク、ペーパータオルなど、新たな購入の負担が増している。

緊急要求書について

この感染症については、現在まだ研究途上であることや、ワクチン接種などについて多様な意見があることを考慮して、今回は一致できるであろう項目のみを要求としてまとめました。組合は、これからも生徒にとっても教職員にとっても安全な学校であるために、また教職員の労働にさらなる負担がかからないように、必要な施策を県に求めていくと同時にいろいろな情報をお知らせし、ご存じですか。詳細が知りたい方は、「調査情報30号」（2021年3月9日発行）を参照してください。組合はひとり一人の声を大切にします。今後もいろいろな声を届けてください。



QR_調査情報20年度30号

あなたも高教組へ。教職員の生活と権利を守るとりくみを、ぜひ一緒に！